# 21世紀を展望して

今年2001年を記念して、「甲陽だより」編集委員会では、『新百年…21世紀を展望して』を特集・企画しました。

20年後(もしくは100年後)の世界、20年後(もしくは100年後)の世の中、20年後の自分などなど様々な「夢」・「空想(?)」・「理想(?)」…「創造的な想像」を大いに語っていただこうという特集・企画です。

なお、原稿依頼は、各回一名の方々に依頼し、以下のように30数名の方々より、寄稿がありました。

#### ■21世紀を展望して

同窓会会長 平田 豊 (22回)

いよいよ21世紀の幕が開いた。新しい世紀を担うの は間違い無く今の青少年達だが、その若者達の卒業式が、 甲陽学院高校で行われた。

同窓会会長として初めての出席で、色々なパフォーマンスがあって驚くかもしれませんよと、学校側から事前の説明があった。

事実、犬の縫いぐるみやドラえもんの仮面をかぶった 生徒や、女装をした生徒もいて会場の笑いを誘った。

そのような緊張と和やかな雰囲気の中で、石川校長の 式辞があり、ひとりひとり卒業生の名前が読み上げられ た。名前を呼ばれた生徒達が立ち上がって、「ハイ」と いう返事をする中で、「俺はノーベル賞を取るぞ」とか 「芥川賞をとるぞ」という勇ましい生徒がいて、それが 私を驚かせた。

ノーベル賞や芥川賞を叫んだ生徒達の本心がどうであったのかはよくわからない。しかし、それは単なる目立ちたがり屋のパフォーマンスではなく、自分の望む最高の賞に挑戦してみたいという純粋な気持ちがそうさせたのではないかと思いたい。私はそういった高い志を持った彼等を見ていて、日本の将来もそう悲観したものではないかも知れないと思った。

私からの祝辞は、「限界に挑戦」という趣旨であった。直 木賞作家の五木寛之氏の「人生の目的」というエッセイを 引き合いに出して、人それぞれが持って生まれた運命とか 宿命を素直に受け止め、自分の能力の限界に挑戦してほし いと訴えた。彼等の人生はこれから長い道のりであるが、 自らの人生を大事に生きてほしいと思ったからである。

さて、21世紀の未来は彼等にまかせるとして、最近寒心に耐えない事件が起こった。JALのニアミスによる傷害事故と、水産高校の海洋演習船と米国潜水艦の激突事故である。

いずれも近代科学の粋を集めた機械である。それが何故こんな事故を起こすのか。色々な論議はあるが、最後は人間の心に帰着するのではないか。

21世紀はロボットの時代とも言われているが、ロボットに果たして 人間の心が注入できるのか。これからの若者達が否応なく直面する問題であろう。

当日は、寒いが明るい日差しで、 色々なことを考えさせられる卒業式 であった。

#### △私が百歳になったとき

藤野 吉平 (旧教職員)

20年後、モシ生キテイルトスレバ私ハ百歳。

スッキリ、シャントシタ自前ノ憲法 モ出来テイル。▼中国が台頭シ、経 済ハ日本ガアジアヲ牛耳ル▼プロ野 球ハ廃レ、巨人軍ハ消滅。代ッテプ ロノアメ・フット、バスケ、アイス

ホッケー全盛トナル▼電力ハ自家発電ガ8割トナリ、ガソリン車ハ見カケナクナル。 時ニ天皇ハ米寿トナリタマウ。



発 行 所 〒662-0096 西宮市角石町3-138 甲陽学院同窓会 <sub>発行人</sub>平田 豊

印 刷 所 株式会社 小西印刷所 西宮市今津西浜町2番60号 TEL (0798)-33-0691

同窓会事務局専用 TEL 0798-71-4888 (月・水・木・金 10:00~16:00) FAX 0798-71-4890 甲陽ホームページ http://www.kabto-yama. ac.jp/koyo/

#### □とくに20年後の夢

甲陽学院高校元教諭 宮本 茂(17回)

80歳に達した者には、20年後は空想かもしれないが、 甲陽学院の念願する姿をのべたい。

- ① 甲陽学院の校風に憧れ、入学を切望する者は女子生徒も入学させ、順次その数も増え、男女生徒が互いに切磋琢磨してゆくのが望ましい。
- ② 飛進級の生徒も多く、普通の生徒とは別の組を編成してそれぞれ少人数の授業をする。
- ③ そのため教師も多人数で時間数も少なく、密度の濃い授業を行なう。

以上、この話を実現してほしい。

# 3月22月オープン

#### 自 提 Hakushika Classics

江戸・明治時代に築かれた "三つの蔵"が100年の 歳月を経て、今、甦る!

レストラン

シックな蔵の中のお洒落な空間で、蔵元直送の灘の 銘酒とともに四季折々の新鮮な食材を使った和食・ 洋食のオリジナル創作料理をお愉しみいただけます。

パーティースペース 各種イベント・セミナーなど多目的にご利用いただ けるスペースです。 ショップー



〒662-0926 西宮市鞍掛町7番7号 ■お問い合せ先/ TEL.0798-35-0001

#### △光栄ある未来

中尾 武生(21回)

温故知新。この言葉が未来を予測する指針としたら、21世紀の日本について悲観する必要はない。なる程多くの問題を抱えている。曰く、高齢化、環境破壊、青少年犯罪の増加など。しかし、ちょっと立ち止まって振り返ってみよう。世界史上の奇跡的発展"明治維新"を成しとげ、さらに敗戦の廃墟から今日の経済大国に見事立ち直った活力と英知は現在も温存されている。甲陽の校訓のように"未来は信頼せよ。しかし、光栄ある現在に生き続けよう。"

#### ■21世紀の若者へのアドバイス

大澤 安正 (22回)

甲陽同窓の若人にお願いしたい 具体的な21世紀での行動指針は次の様に思う。

- ① 選ばれて甲陽学院に入学卒業した事に誇りを持ちエリートとしての責任感と指導力を自ら培うこと。
- ② 学院での正しい規律(昔形式の単に"ねばならぬ式"ではない事)は最低守り其の規律の善悪の判断は社会人になってから行う。
- ③ 同窓となり得た因縁を大事に思い友を大事にする。 親を敬う。
- ④ 青春の熱情を発揮し少々の失敗に挫けない。 上記を学窓時代胸に刻み又先生方も其の指導をすれば彼 等が老年になった時には"青春時代の良き思い出"とし ての郷愁を感受すると思う。低調な事を書いたと思われ るかも知れないが当然の事が実行出来ていなかったのが

#### □国政への提言

20世紀の特徴だったかと思う。

卜部 高史 (23回)

元旦、萩・松下村塾を訪ねた。床板に坐し薫陶を受けた塾生の偉業に思いを馳せ、桂總理の旧居を訪れ日露戦争後の財政危機に私財を投じ国力再興に尽されたと聞く。現政治家は派閥権力私利私欲に溺れ空転国会、選挙民との撃ぎに奔走国政を与る議員の資格欠如。"提言"空転国会飛費不要、議員定年制、参議院廃止、若手に道を開き有能總理を期待する。本校生徒の強い精神体力育成、頼もしい人間形成を望む。わたしは20年後見届けることは出来まい。

#### △人間革命に目覚めよ

渡邉 章吉 (27回)

日露戦争から太平洋戦争へ-20世紀の前半は暗い谷間の戦争時代、しかし敗戦で後半世紀は平和と自由と豊かさを味わうことができた。まさに20世紀は、多くの

ものを得たがまた多くのものも失った。大量の生産・消費廃棄の弊害で、いま人間本来の本質まで崩れようとしている。児童虐待から少年犯罪の哀しさ、また地球環境の喪失。今こそ21世紀は物と金の思想や欲望追求から脱却して人間革命に目覚めなければ、やがて社会生活どころか生きる場所さえ失ってしまうのである。

#### △優秀な後輩諸氏へ

小野 晃 (29回)

今年から始まる新百年!世界の人々が経験しなかった 素晴らしい百年か、逆にこれ迄で体験しなかった凄まじ い百年になるのか。特に日本の現状は明るい夢を国民に 抱かせるには程遠い状況を推移して居り、先輩の一人と して若い人達に生きる意欲と安らぎのある国造りへのス タートをする年になって欲しいと心より願います。素晴 らしい人材を輩出している甲陽の先輩の一人として今年 の夢としたいと思います。頑張れ甲陽健児!

#### □めでたし、めでたし、20年後

山田 耕太 (31回)

20年後には古いタイプの政治屋は影をひそめ、選挙にお金を掛けない市民代表たるNGO、NPOの人々が大量に政界に進出し、しかも女性が過半数を占めるに至るでしょう。従って世界に誇り得る現憲法は護持され、不要不急の公共事業は勿論のこと、防衛費も大幅にカットされ、自衛隊は国際レスキュー隊に衣更えし、世界の人々から信頼を勝ち得、よって膨大な赤字国債も解消し、めでたし、めでたしとなっているであろうと確信します。

#### ♥アジアから全世界へ

安井 一正 (34回)

自分に賭ける21世紀

日本と香港に小さな会社を作って25年、順調に成績をあげてきましたが、年末に全部を清算しました。株主、社員、銀行、仕入先とも何らのトラブルなくクローズして、25年の歴史に幕を引きました。そして引き続き新たに3つの会社を作りました。(体質改革)

新しい世紀は、範囲を、いよいよ欧米に広げて、下請け生産から市場への直接販売へという積年の目的に賭けてみたいのです。

我が人生の後半戦が今始まるところです。

#### □二十一世紀、日本人の活躍舞台-国際貢献

砂村 賢(35回)

遺伝子解明で平均寿命は21世紀前半には古来天命とされる120歳には達すると物理学者が見通している。老

若とも animal spirits を失わず社会貢献すべき時代と心得たい。

アングロアメリカンの支配原理から進んで、多様な高度科学技術に幅広い文化交流、各種競技大会、それに国際支援と投融資能力が問われる時代である。各国の文化価値はlife style に哲学と専門能力で評価されるが、文明の進歩は真善美を追求する探求心と知情意に裏付けられたideaを示す行動力によって実現する。日本人は本来持つ柔軟な発想と投資の良さに加え各種価値観を踏まえた国際感覚と健全な判断力で、国際問題への貢献が期待される。

情報通信技術ITの発達は島国日本にとり有利な時代となる筈であるが、他方でローカル気質がとかく支配的となり易く、英語力不足のため情報不全digital divideから知的階級格差が生じつつある社会的現実を直視する要あり。交流の拙劣さは対中露交渉力にも明らかで、我々老世代の役割は基礎教育と社会訓練に加え、世界史的視野から国際感覚を植え付けることと考える。老若とも甲陽健児の活躍舞台は各方面で広く期待されている。

A life must be lived forward, but can only be learnt afterward.

····· Kierkegauld

#### △21世紀を展望して

舟越 辰緒 (36回)

同窓会というものは、人生に二度とない青少年時代に 培ったお互いの絆を確保し再生産できる貴重な組織であ るとともに、機能的に言えば一種の情報発信装置でもあ る。

同窓会の組織運営に最近のパソコン通信の方法を活用しない手はないのであって、「甲陽だより」などもそのホームページでやってしまえばずいぶん多くの情報を頻繁に編集・処理できようし、会員名簿などもそれで作ってしまえるのではないか。他の学校の同窓会でそういうモデルもあるのではないか。

諸賢のご意見ご検討を望むしだいであります。

#### №2021年の初夢

泥 光重 (39回)

2020年末までに少しガタが来た身体のあちこちのパーツを取り替えたのですこぶる体調が良い。

趣味も脳に生めこんだメモリーチップに、インターネットからダウンロードして、知識も豊富になったが、残り少ない脳細胞にかすかに残る香炉園の海岸での夏の水泳教練の思い出、これは同窓会にある映像データベースにも残っていない。この記憶が少し薄れて来た、これは大変だ。ここで目が醒めた。

#### □命の未来、素晴らしい夢と一抹の不安

花木 繁 (42回)

私が少年時代映画で見た月への人間到達、体細胞核の卵細胞移植に因るクローン動物の生成等々20世紀の科学の発達には目覚ましいものがあったと思う、そしてそれらは21世紀に伝えられ勢いは止む処を知らない状態ではないかと想像する。HFGの承認、又その他の新薬の研究も進みあらゆる病気が克服される世紀となるであろうし、某社の開発した立歩行可能なロボットに他某社のペットロボットの持つ経験記憶装置を組み付ければここ数年で有る程度の対応能力を有するロボットの出現する可能性もあり、夢と想像が広がる世紀になろうと夢を膨らませている。

一方、人間は寿命が延びても某評論家の言葉を借りれば精神年齢は実年齢に60÷平均寿命(85)=0.7倍を乗じた位とのこと、これから寿命がもっと延びればどうなるのだろうか?

一抹の不安も生じた初夢でした。

#### 【20年後の私ーダチョウ先生を肴に一杯

川淵 秀和(44回)

いやあ、あっという間に1日・1年が経ってしまう。ドッグイヤーと言うらしい。しかし、最近の変化のスピードはもっと早くいわば「蜻蛉<カゲロウ>イヤー(羽が出たら数時間で死ぬ)」だ。まるで、中学で高校の授業を教えられた甲陽時代の悪夢の再来だ。統計によると電話は人口の10%に普及するのに75年かかったが、iモードの携帯電話は1年だそうだ。このペースで行くと、20年などすぐだろうが、このスピードについて行けそうにもない。20年後は時代に取り残された友人達とダチョウ先生を肴に一杯飲んでいるだろう。

#### ☑苦難の世紀を迎えて

岡田 三彦 (46回)

表題については私達リストラ世代には、とても発言する気にはなれませんというのが、本当の気持ちです。私達に残されたのは、健康だけです。遺伝子組替食品等に負けてられません。昨年、甲陽の有志で甲陽MLランナーズを結成しました。42回田村、46回柴田、吉井、重田、佐藤、西村、勝村、私、61回新谷、63回小鯛のメンバーです。21世紀は本当にサバイバルです。そのために健康を!参加は

MLrunners@aicoh.ac.jp ^

#### □新しくて共通の拠りどころ

前川 昌夫 (47回)

この国の民として、生きる目標が新たに見つかる。心

通い合う新しい家族像が結べる。カラオケで世代を超えて歌える国民的ヒット曲が生まれる…。

公から私まで、てんでばらばらになった20世紀末。新世紀の夢は、すべてその裏返し。過ぎ去ったものにすがりつくアナクロに陥ることなく、変化したものに適う新しくて共通の拠りどころを見出すことはできないか。そんな日本という国で、夢を抱きつつ老後を送りたい。

#### □新しい世紀 弁護士も新しくなります

夏住 要一郎(48回)

今、大阪弁護士会の副会長として「司法改革」を担当 しています。21世紀の弁護士はもっと身近な存在にな っているはずです。

- ① 弁護士の数は飛躍的に増え、業務形態も大きな共同 事務所 (=総合病院) から個人の事務所 (=開業医) ま でよりどり見どりで運んで貰えます。
- ② 弁護士がテレビやラジオあるいはインターネットで 宣伝広告を行い、選ぶための情報が増え、誠意のない弁 護士は相手にされなくなります。
- ③ 弁護士が役所・企業・NPO・労働組合などの団体 職員として働くようになります。

乞う!!ご期待。

#### ▶司法改革よ永遠に

水島 昇 (49回)

前世紀中、日本の司法があまりに日本的だとの不満から、司法改革が喧伝され、法曹人口の増大が実現された。 今や弁護士は5万人を数え、パソコンで素早くアクセスできる。

だけど問題は、我が日本では司法の権威がいまだに前世紀並であるということなのだ。英米法的な正義と公平の貫徹という司法の権威と日本的な利益均衡の曖昧さとの間には百年以上の時差がありそうだ。司法改革よ永遠に。

#### ▶ 50歳を迎えるにあたって

小野 耕司 (50回)

我々50回生は21世紀を迎える時期に人生の一区切りといえる50歳にさしかかる。

これからの20年は人生の集大成の時期。ほぼ、勝負は決まったとも言えるし、いやこれからとも言える。体力も、もうだめか、とも感じるし、いやまだまだとも感じる。

20年後の自分を今一度イメージし、一踏ん張りやってみよう。

21世紀は、人間の時代とも言われる。まさしく甲陽人の出番ではないか。

#### ☆夢の実現 作用と反作用

田邊 一也 (51回)

科学や技術の著しい発達で多くの夢が次々と実現していきます。人間にとって便利で快適に過ごせる時代に住むと無意識のうちに怠惰で無防備になっているのを忘れています。あと20年このまま進むと人はとても怠け者で鈍感な生物になってしまうのではと心配です。せめて花や雪や蝶に「あはれ」を感じつづける感性を保持したいと思います。

作用と反作用の法則を痛感する知命の世代

#### □情報革命だったこの半生

松本 茂 (52回)

約40年前、小学生の私は、駅前の靴屋の二階の算盤 教室に通っていた。約30年前、甲陽の高校に電卓が導 入された、と記憶している。約20年前、友人が貯金を はたいてパソコンを買った。とても高価なのに驚いた。 10年前私の医院にもパソコンが来た。一昨年、私にと って四台目のパソコンを購入し、今、この原稿をE-mail で同窓会に送ろうとしている。

情報処理、伝達技術の飛躍的進歩は21世紀の社会を どのように変えるのだろうか?

#### ■20年後の法律サービス

岩田 研二郎(55回)

身の回りで法律問題が起こると、自宅の近くのホームロイヤーの法律事務所のホームページにアクセスして予約を入れる。相談料と弁護士費用は、権利保護保険をセットした生命保険会社から支払ってもらう。弁護士とは顔見知りなので、テレビ電話で話をして、裁判の進行状況の連絡や資料は電子メールで来る。

こうして不要なアクセス障害は取り払われるでしょうが、やはり人間の紛争のありかたや解決のしかたは、あまり変わっていないでしょう。

#### □ヒトゲノム解明と21世紀

喜多 巧 (58回)

現代医学は、体質的に弱い子の命を守り、昔は幼くして死んでしまったであろう子も生き長らえさせ、普通の人間生活ができることを可能にした。これは大変好ましいことであるが、逆にいえば、人間社会に生存に不利な遺伝子の蓄積をもたらした可能性も否定できない。今世紀に入り、ヒトゲノム解明計画はほぼ完了したが、今後はそれが応用され、生物学は、生存に不利な遺伝子を明らかにし、医学生物学的にそれを排除していく努力がなされていくと予想される。

#### ▶ 21世紀の医療

#### 力武 良行 (67回)

医療の分野においては、21世紀は遺伝子医療の時代と言われている。すなわち、各個人の遺伝子を解析し、各個人に合った適切な治療薬と投与法が決定される、いわゆる、オーダーメイド医療が始まると予想される。また、再生医学の進歩により、臓器移植に代わる新たな治療法が開発されると推測される。こうした生命科学の飛躍的進歩により、20世紀における夢物語が今世紀中には現実のものとなるのではと期待される。

#### ■2021年1月1日の出来事

橋本 修吾 (68回)

2020年の最後の日は台湾のある田舎町で迎えた。観光地として有名な花蓮の20kmほど南、豊浜(寶濱)という町である。

ほかの建物と同じような、四角い2階建てのコンクリートの建物で、1階の店先では鎌やらブリキのバケツやらを売っている店が、旅社(ホテル)の看板を出していた。4畳ほどの室内にはテレビがあり、衛星放送が見られた。紅白歌合戦も行く年来る年も放送された。そして21世紀も成人を迎えたという感慨とともに、少し興奮しながら眠りについたのであった。

目覚ましが鳴った。空が少し明るくなりかけている。 早く行かないと2021年の初日の出に間に合わない。

前もって探しておいた見晴らしのよいところまで急いだ。たくさんの野良犬がうろうろしているばかりで、台湾の人は一人もいない。雲間から見える赤い太陽を時間をかけて眺めた。

それから日が昇り、台湾の人たちは全く何を祝うこともなく、食堂に集まってきては新聞を読み雑談をするばかりだった。私も、その店で台湾風の味付けをした、卵焼き入りサンドイッチを食べた。そして新年という気分があまりしないまま、さらに旅を続けたのだった。

#### ▶21世紀の医療に望むこと

矢野 嘉彦 (71回)

遺伝子治療、臓器移植をはじめとする医療技術の進歩はめざましいものがある。しかしながら核家族化や高齢化が進む中、本当に必要とされている医療は何であろうか。これからは一歩振り返って、幅のある、人間性を大切にする医療を見直していくときではないか。最近の医療過誤により医療をとり巻く環境は厳しくなる一方であるが、微力ながらでも貢献できればと思う次第である。

#### ▶字宙へ、そして美しい地球へ

米田 哲 (73回)

今から20年後には、人間の遺伝子が完全に解明され、あらゆる難病がなくなっているかもしれない。一方人間型ロボットが完成され、介護や危険作業を行っているかもしれない。また、宇宙旅行が流行っているかもしれない。そして人々は…。失った自然を取り戻すために、美しい地球を守るために全力を尽くしていて欲しい。我々エンジニアはリサイクル技術・クリーンエネルギー技術は少なくとも完熟させなければならない。やるぞ!!

#### □日々の小さな夢

辛島 理人(75回)

21世紀に何をしているか?という問いは子供の頃によく突きつけられた。当時はいろいろ思いをめぐらしたものだが、実際に21世紀になるとそれほど実感がない。昨年すでにミレニアムだとかいって十二分に騒いだからだろうか。というより「世紀」というような100年単位で考える発想を失ったからか。90年代前半はどうだったかと、10年単位で振り返ることもままならない。ということで日々小さな夢を想うことにします。

#### ▶「新世紀」の意味

村山 航 (77回)

新世紀、と言えば何かが起こりそうな気がする。逆に、 西暦などというものは一人の神の誕生をもって定められた原点の恣意的な間隔尺度に過ぎないものだと、その予感を一笑に付する人もいる。だが、そこにはやはり心理的な「区切り」は存在するはずだ。この心理的な「区切り」が人間の躍動を産み出し、新たな跳躍に貢献する可能性に思いを巡らすと、21世紀騒ぎというものもそう捨てたものではないと、一人呟く今日この頃である。

#### □IT革命も、タイガースも

生田 武蔵 (80回)

ノストラダムスの予言も外れ、無事21世紀を迎えています。21世紀は、どんな世紀になるのでしょう。IT 革命が進み、パソコン一つで、何でも出来るようになったり、さらには阪神タイガースが優勝してしまったりと胸を膨らますばかりです。甲陽生の皆さんも夢や希望でいっぱいでしょう。どんな困難があろうと、甲陽生として誇りを持ち、頑張って下さい。そして、甲陽生・甲陽生のBでこの21世紀をひっぱっていきましょう。

# 21世紀を展望して

## 会務報告

事務局担当 有田 和男 (31回)

#### はじめに

平成12年4月1日~12月31日までの会務の中間報告を申し上げます。この3月の役員総会で、会則により同窓会会長の改選があり、新会長のもと新しい執行部が2年の任期をもって発足を致しました。新執行部一同、役員総会で承認を得ました。活動方針に沿って、その内容ある実現に英知をしぼり懸命の努力を傾注してきました。その願うところの半ばにも達していないのではないかとの思いがありますが、今後ともその達成を目指して最善を尽くす覚悟でおります。同時に、皆様方のご理解とご協力と、そして叱咤激励をお願い申し上げます。

個々の諸活動の状況につきましては、下記の通り報告を申し上げます。この諸活動の間に特に痛感していますのは、その卒業した年次による、その育った社会環境・時代の相違により、母校・同窓会に対する接し方・感じ方・考え方に温度差があり、同窓会活動と運営の中で、如何にその調和と融和をはかり、同窓会としてどこに接点を見い出し、どこにお互いの意思疎通を求めるか、それが大きな課題となって迫ってきています。現在は、まだこれを深刻に受けとめるのではなく、おおらかな包容力を持って、会務と諸活動を進めたいと考えています。

#### 2 現在までの諸活動について

#### 1. 会則・第23条に定める諸会議の開催

- ① 役員総会 [平成12年3月23日・開催]
- ② 会員総会「平成12年8月26日・開催]
- ③ 理事会 [平成12年11月29日・開催]
- ④ 常務理事会「3回・開催]
- ⑤ 会報編集委員会 [5回·開催] 会報編集小委員会 [2回·開催]
- ⑥ 会員総会運営委員会 [5回·開催] 会員総会小委員会 [2回·開催]

以上のとおりでありますが、会員総会につきましては、別途に報告をさせて頂きます。上記のほか慣例の同窓会役員と法人・学校当局・育友会との四者懇談会を昨年の12月10日に開催を致しまして、実りのある意見の交換を行いました。

#### 2. 会報・第62号の発行について

平成12年7月20日付にて、第62号の会報を発行致しました。会報の刷新は勿論、会報に愛着を持って頂けるよう、また皆様に興味をもって読んで頂けるよう、委員会では喧々囂々たる議論を重ね、その新企画を練っております。皆様方のご意見・ご批評・新企画などを、お寄せ頂ければとお願い申し上げます。

#### 3. 会員総会について

平成12年度の会員総会は、旧校舎の跡地・甲子園都ホテルにて開催。通常の会員総会では最高の参加人員である370名余の集まりとなり、かってないほどの嬉しい盛り上がりとなりました。それだけに、総会の設営や運営に配慮の足りない面もあり、特にご高齢の方々からご叱正を頂戴致しました。これらにつきましては、直ちに会員総会の反省会を開催しまして、その反省点・問題点・今後の運営等につきまして、色々と論議を戦わせました過程を議事録に詳細に纏め、来年度以降の開催について、貴重な資料とさせて頂き、更なる会員総会の充実と発展、そして色々な面での配慮を考えさせて頂きます。

#### 4. 支部の結成と育成について

支部の結成促進と育成は、同窓会活動の大きな柱の一つであり、支部の充実と発展は、同窓会の活性化に繋がるものであります。現在は、東京支部のみであり、本年度は各地域・地区、そして各職域・各業種別に、支部の結成を呼び掛けていますが、その反応は弱く鈍いのが現状であります。同窓会事務局として、その結成の費用として通信費の負担・宛名ラベルの作成など、協力体制の検討を考えていますので、ご相談をお待ちしています。

#### 3 会計報告について

平成12年4月から12月までの会計報告を申し上げます。収入の総合計は12,684,067円で、支出の総合計は7,431,327円となり、概ね予算どおりの収支で、別表2の12月分収支集計表のとおりの数字となっています。こ

の3月の決算時では、総収入で予算を約300万円ほど上 廻り、総支出では予算の範囲内で収まるものと予測をし ています。今後とも支出面での経費節減には、懸命の努 力を致す所存でおります。

別表1

#### ◇ 年会費・終身会費の納付状況表 ◇

(単位:円)

	V 1 ==== 1 111 = 1 111 = 1					
	H7年	H8年	H9年	H10年	H11年	H12年
会費総収入	4,852,500	4,851,000	5,683,470	8,431,000	22,864,500	11,525,034
(年会費)				2602件	1882件	906件
	2,812,500	2,781,000	3,684,100	5,472,000	4,974,500	1,978,034
(終身会費)				85件	868件	484件
				899,000	15,840,000	9,547,000
(新卒者)	1,428,000	1,449,000	1,400,000	1,442,000	1,435,000	0
(入会金)	612,000	621,000	599,370	618,000	615,000	0

[註] ※H9年度までの終身会費は、年会費の中に含まれています。※H12年度は、12月末日まで入金の金額。

#### 4 基本金について

昨年度の剰余金から1.000万円を、役員総会のご承認 を得まして、基本金に組み入れました。現在の基本金は 10口2295万円の積立てとなっています。本年度も決算 内容を見まして、剰余金の一部を基本金への組み入れを 考えています。更に、新たに特別積立金(寄付金対象) の口座の新設も承認され、50万円の金額が積み立てら れています。今後とも、その有意義な使途を検討・模索 したいと考えています。

#### | 5 同窓会財政の展望について

同窓会財政は、H10年度から新終身会費制度を発足さ せ、各回別納付金額の特典を設け、年会費・終身会費の 納付促進への努力を行い、過去の赤字体質からの脱却を はかりました。その年度別会費納付の推移は別表・1の 通りであります。ここ2年来の会務報告で同窓会財政の 展望として予測しています通り、H11年度を頂点に年会 費・終身会費は、納付件数、金額とも下降線をたどり、 このまま傍観しておれば、再び赤字財政になりかねない 状況にあります。その内容の分析につきましては、H11 年度の会務報告の中で申し上げていますので、ここでは 省略をさせて頂きます。また、長期的な視野に立っての 同窓会財政の再構築につきましては、新会務運営委員会 を発足させまして、その中で真剣な討議を行い、これを 常務理事会への答申書として纏める作業を行っておりま す。

△ 级自全费,名同则幼社全殖型学主 △ 민丰의

別表2							
回生	金 額	回生	金 額	回生	金 額		
1回	10,000	31回	10,000	61回	23,500		
2回	10,000	32回	10,000	62回	24,000		
3回	10,000	33回	10,000	63回	24,500		
4回	10,000	34回	10,000	64回	25,000		
5回	10,000	35回	10,500	65回	25,500		
6回	10,000	36回	11,000	66回	26,000		
7回	10,000	37回	11,500	67回	26,500		
8回	10,000	38回	12,000	68回	27,000		
9回	10,000	39回	12,500	69回	27,500		
10回	10,000	40回	13,000	70回	28,000		
11回	10,000	41回	13,500	71回	28,500		
12回	10,000	42回	14,000	72回	29,000		
13回	10,000	43回	14,500	73回	29,500		
14回	10,000	44回	15,000	74回	30,000		
15回	10,000	45回	15,500	75回	30,000		
16回	10,000	46回	16,000	76回	30,000		
17回	10,000	47回	16,500	77回	30,000		
18回	10,000	48回	17,000	78回	30,000		
19回	10,000	49回	17,500	79回	30,000		
20回	10,000	50回	18,000	80回	30,000		
21回	10,000	51回	18,500				
22回	10,000	52回	19,000	高商•1	10,000		
23回	10,000	53回	19,500	高商•2	10,000		
24回	10,000	54回	20,000	高商•3	10,000		
25回	10,000	55回	20,500	高商•4	10,000		
26回	10,000	56回	21,000	機械・1	10,000		
27回	10,000	57回	21,500	機械・2	10,000		
28回	10,000	58回	22,000	造船•1	10,000		
29回	10,000	59回	22,500	造船•2	10,000		
30回	10,000	60回	23,000	工業・1	10,000		
- (光片・四)							

(単位:円)

#### 6 新終身会費制度の特典について

新終身会費制度の特典(終身会費納付金額の設定)は、 H12年度末(今年の3月末)までの期限がついており、 H13年度は年会費の増額問題と併せ、各回別終身会費金 額を改定(増額)を行う予定でおりました。しかし、周 囲の取り巻く経済情勢と生活環境が、1年の期限延長を 考えざるを得ない現況となり、新会務運営委員会で議論 し、常務理事会で結論を出し、この3月末開催の役員総 会で、ご承認を得る手続きを取りたいと考えています。

今回の新終身会費制度の特典につきまして、期限付の 金額設定の特典があるゆえに、急いで年会費から終身会 費の納付に切り替えたのに等の、ご意見・ご異論もあろ うかと思いますが、現実は年会費の増額も許されそうに ない経済環境でありますので、何卒ご理解を賜りたく、 お願いを申し上げます。

更に、将来の同窓会財政の安定化を視野に入れ、新卒 者からの終身会費制度適用についての、議論と理論付け を会務運営委員会で行いたいと考えております。

#### 7 その他

H14年は、甲陽学院・創立85周年となります。これ の記念事業の一環として、5年ごとの同窓会会員名簿の 発刊があります。これにつきまして、会員名簿編集・発 刊委員会の発足を企画しています。IT革命の時代に相 応しい名簿をと願っています。新しい企画や良きお知恵 などを、お寄せ頂きたく存じます。

別表3 平成12年度・12日分収支集計表

別玄	<b>7</b> 3			‡度・12	2月分似文集計表 [支出の部]			
[収入の部]								
会	<u>目</u>		累計4~12月分	予算額 11,000,000	科 目 人 件 費	12月度 254,040	累計4~12月分 1,547,480	予算額 2,060,000
ᄍ	貝	710,290	11,525,034	11,000,000	※月 手 当			
※年	会 費	125,290	1,978,034	1,500,000	※夏冬手当	100,000 140,000	1,100,000 240,000	1,500,000
_							_	280,000
	身 会 費 入会金	585,000	9,547,000	7,500,000 600,000	※通 勤 費	14,040	207,480	280,000
		0	0	,	交 通 費	0	9.960	100,000
※初午	年会費	0	0	1,400,000	文 迪 負	U	9,900	100,000
名簿	収入	6.000	206,000	60.000	需要費	5.250	769.629	1.350.000
		-,		,	※通 信 費	5,250	382,569	600,000
広告	収入	0	110,000	200,000	※事務用消耗品費	0	56,992	150,000
	-1/1/		110,000	200,000	※備品費	0	330,068	600,000
総会会	費収入	0	789,500	500,000	WHI HE SC		000,000	000,000
					会 議 費	0	2,913,684	2,800,000
雑↓	汉 入	0	0	0	※会員総会費	0	2,101,115	1,200,000
					※役員総会費	0	299,554	300,000
利子	収入	0	53,533	20,000	※理事会費	0	87,562	300,000
					※委員会費	0	425,453	700,000
寄(	寸 金	0	0	0	※懇談会費	0	0	300,000
収入	合計	716,290	12,684,067	11,780,000	事業費	0	1,847,554	3,650,000
					※甲陽だより	0	572,250	1,200,000
基本記	金解約	0	0	0	※郵 送 料	0	660,058	1,400,000
前月度	繰越金	16,812,621	-	(11,993,131)	※振替用紙代	0	61,740	200,000
収入	総計	17,528,911	_	(23,773,131)	※封 筒 代	0	51,817	200,000
☆12	月末日	現在・現預念	金残高明細		※記念品代	0	501,689	650,000
***	くら銀行		1,089	,776円				
	*さくら銀行 -定期預金 5,000,000円(20)			雑費	23,750	247,717	520,000	
*郵	便局	一通帳	4,026	,084円	※校内志	20,000	40,000	50,000
*		振り替え通	知票 840	,880円	※慶 弔 費	0	0	100,000
*		定額預金	5,000	,000円 (2口)	※振 替 料	3,750	103,030	170,000
		一通帳	1,249	,981円	※雑 経 費	0	104,687	200,000
*手	許現金			,150円				
	合	計	17,245	,871円	支出合計	283,040	7,336,024	10,480,000
☆12月分・収入件数の合計と累計				予 備 費	0	95,303	13,293,131	
12月分 累計								
	*年 会 費 28件 906件			支出総計	283,040	7,431,327	23,773,131	
				484件	17.7 M F1	17 500 05 -		
_			2件	68件	収入総計	17,528,911	_	_
			0件	5件	支出総計	283,040	_	_
*総	会 会 費	ł	O件	216件	翌月·繰越金	17,245,871	_	_
								(単位:円)

(単位:円)

## 会員だより

#### 11回 山桜会

H12年9月28日(木)、第11回山桜会(S14年卒桜組)をウエステインホテル内「はなの」(日本料理)で開催した。

当日は出席者5名で、12:00~15:00迄3時間、往時の 想い出に時の経つのを忘れた。現存者15名、消息不明 者10名、物故者26名、卒業時に比べ30%弱の生存であ る。出席者が減って行く事に、寂しさを感ずる。来年開 催まで互いに元気でいる事を、約して別れた。

写真は左より、前田倭雄・貴田忠三・森本浩・清水春 彦・青山敏男。



## 21回 橘会

天気予報は曇り時々雨で心配していましたが、予想が はずれて暖かすぎるほどの平成12年11月5日(日)、第28 回目の橘会を宝塚市逆瀬川の「宝仙花」梅の間で開催し ました。床の間は清荒神の鉄斎美術館所蔵、富岡鉄斎 「瓢中快適図」の掛け軸(複製)、有馬温泉「中の坊瑞苑」 の梶木剛常務が毎年差し入れて下さる銘酒、今年は初め て賞味する「中之坊」を有り難く頂戴いたしました。開 催に先立って、この一年間に亡くなった西松元康・高橋 純平両君の冥福を祈って黙祷、事務報告のあと乾杯、そ れぞれが近況報告を兼ねて歓談しました。出席者は写真 前列左から林 信男・冨岡英夫・井川 登・筒井 潤、 後列 濱口博章・倉石秀夫・比留間敏男・羽間重光・一 色 皓・森岡甲子男・入間田謙信・井本幸雄の12名で す。二十一世紀最初の来年も、11月4日の第一日曜日 「宝仙花」でと決定しましたので、一年先の予定をお願い します。幹事は引き続き濱口がさせていただきます。

撮影 入間田君 報告 濱口 博章



#### 25回 桜組

平成12年度桜組クラス会を平成12年10月21日(土)、錦織達郎さんのご儘力により、関西電力中之島プラザで開催しました。本年は12名の出席でありました。当初、16名の参加予定でありましたが、海外出張、法要等急用のため出席出来ない方があり12名となりました。

本日までの過去一年間は、幸いにも、会員は誰一人欠ける事なく、健在で喜ばしい事であります。

昨年のクラス会の席上、常念寺住職の瑞穂光信さんの 提案に、出席者一同がその一助にとカンパをした「ミャンマー(旧ビルマ)に学校を建てる会」の成果として、ミャンマー国シャン州へボー村第6小学校が完成し、瑞穂さんが完工式に参列した写真入り報告書が披露されました。

出席者の近況報告では、賑やかな応酬が繰り返され、 和気あいあいの中で楽しい一刻を過ごし、最後は恒例の ごとく校歌及び応援歌の大合唱で締めくくり、来年の再 会を約束して散会しました。

来年のクラス会は平成13年10月下旬の土曜日に、本年と同じく関西電力中之島プラザで開催を予定して居ります。21世紀最初のクラス会となりますので、数多くの会員の参加を期待して居ります。

今回の出席者は 大川四津雄、大内昭吾、三田健一朗、 富田礼記、中田恵之、波々伯部憲作、松浦 守、宮原晃 一、若松申一、渡辺正雄、根本 博、安達正昭

以上12名でした。 (安達 記)



#### 26・27回 梅組

平成12年12月8日に数年末より恒例となった年一回の"忘年クラス会"を尼崎の「ホテルニューアルカイック」で持ちました。毎年出席者の顔ぶれは多少変わる事はあっても常時10名以上が元気な姿を見せてその半数以上が未だ現役で活躍中で次世紀での再会を誓い合いました。 (長手 記)

出席者写真(前列から左から)上枝、大島、天羽、(後 列左から)長手、足立、千田、関本、毛利(幹事)、小 竹、梅垣(幹事)、野辺、茶野(磯野は途中退席)



#### 41回 卒後40周年記念同窓会~神戸にて~



同窓の皆様、我々1960年卒(41回生)40名(写真上)は平成12年8月26日ホテルオークラ神戸にて卒後40周年記念同窓会を開きました。その時の楽しい集いをここ『甲陽だより』の場をお借りしてご報告いたします。

当日は恩師 - 信川百二、中島久両先生(写真右)をお迎えし、賑やかに楽しい時間を過ごしました。両先生のお話に加え、当日は参加者全員が



ミニスピーチにて近況報告を行いました。高校卒業アルバムより各人の顔写真をプロジェクターに映写し、現在の落差(?)を互いに冷やかし、あるいは誉めあい、青春の気分に戻れた1日でした。41回生はゴルフコンペを年2回行っております。新しく参加される方は大歓迎ですので、平島、守殿までご連絡くださればご案内を差し上げます。41回生の同窓会は転勤等が少ない私をはじめ、北川、平島、山下(忠)、三田が適宜役割を使い分け、お世話させていただいております。当日欠席された諸兄の中でご連絡先に変更のある方は、恐れ入りますが上記の者のいずれかへ是非お知らせください。次回は3年後を予定しております。ひとりでも多くの方に集っていただきたいものです。お目にかかれることを楽しみにしております。

#### 48回 学年記念同窓会



去る7月21日金18時30分~大阪ガス備後町クラブで、 第48回卒の学年同窓会が行われた。これは5年ぶりの同 窓会で、各クラスから2名ずつ計8名の幹事により準備 した。

当日は中島久先生と静利一郎先生をお招きし、31名の出席者を得た。両先生による甲陽高校の近況報告に続き、参加者会員が一言スピーチを行った。企業関係者はそろそろ第2の職場へ移る頃であり、両親の介護の問題や、何よりもこれからの数10年の人生をいかに楽しく生きるか、夫々の思いを述べ合い、大いに語り合った。

我々の担任をして頂いた宮川先生、谷本勇先生は、高齢のためご出席がかなわず、残念でしたが、また来年21世紀スタートでの再会を約してお開きとなりました。 幹事の皆様、ご苦労様でした。 (池田 記)

幹事団 A組 皆見 池田 B組 臼井 山崎 C組 井上 木村 D組 山元 吉田

#### 51回 卒業30周年ミレニアム同窓会



2000年8月26日甲子園都ホテルでの会員総会の後、引き続きお世話になった先生方7名をお招きし頭記の会を盛大に開催しました。

先生方のお元気なスピーチに往年の授業を思い出し、 母校教諭で活躍中の森本保君はじめ各界で活躍、話題を 集める人、地域で活躍する人など多彩な同級生の近況を 聴き20世紀を総括し、次は2005年の再開を期しました。 なお新世紀に入っても相互に交流できるよう、近況報告 集を冊子にまとめ発刊しました。この30周年の様子と 12名の先生と162人の同級生の消息が一目でわかり、イ ーメールアドレスも120以上登録、今後大いに活用でき そうです。 (田邊 記)

#### 52回 30周年記念同窓会

いよいよ待望の21世紀がやってまいりました。各分野で 活躍中のわれわれ52回生におきましては、30回目の同窓 会が話題のミレニアム元年と重なることとなりました。 記念すべきこの同窓会にみな奮って参加し、お互い旧交を 温め、刺激し合い、実りある盛大なものになりました。つ きましてはここにその報告をさせていただきます。場所: ホテル「ポップイン」アミング(JR尼崎駅改札口から北へ 徒歩1分)、日時:平成13年1月2日(火)、麒麟ビールの桂君 の紹介により使わせてもらいました。尼崎駅前総合開発の 一環として作られた、麒麟ビール直営のホテルです。新幹 線で関西に戻ってくる同級生には大変便利でした。新大阪 から快速で2駅目、滑り込みセーフで会に間に合いました。 同窓生総員212名、当初連絡先が判明しており案内を発送 できた者163名のうち、出欠連絡をくれた者100名、メー ルアドレスを返信してくれた者72名。そして総勢46名が 集う同窓会となりました。時代はインターネットの時代。 ややもすると取り残されかねない年代にあるとはいえ、ま だまだ元気なおじさんパワーの52回生であります。山田先 生、中島先生が残ってくれた2次会も盛況のうちに終了し たことをつけ加えて報告を終了させていただきます。

#### 甲陽硬式テニス部OB会

去る11月28日火の18時30分から大阪ガス備後町オー クビルにおいて今年2度目の硬式テニス部0B会が行わ れた。今までは岡西先生(通称"岡んす")に顧問をし て貰っていた47回~52回卒が集まっていたが、今回は 53回卒からも2名が初参加。岡西先生を中心に総勢12名 が20世紀の反省を踏まえ新しい21世紀の世界と日本を 展望する熱い議論を展開する予定であったが、結局は一 人一人の近況報告から始まって、毎年正月に岡西先生宅 でサンドイッチを作り、皆で輪になってゲームを楽しん だことなど懐かしい話に花がさいた。実は岡西先生は当 時テニスなどやったことがなく、顧問の立場上、皆が機 嫌良くテニスをできるようにするのに自分が貢献出来る ことは何か?といろいろ考えあぐねたあげく、あの正月 の無礼講を始められたそうです。一次会終了後有志で北 新地に繰り出し、歌い踊った後午前様近くなってこのい つ果てるともしれない20世紀最後の宴も散会となった。 出席者

48回 伊賀誠、山元真士、吉田雄二、池田収一

49回 難波正人

50回 安部研、前田雄三

52 回 藤井義彦、須藤雄二

竹内良治、坂本真一 53 回

顧問 岡西進



#### 甲陽教育研究会 教研

平成12年度秋の例会が、10月1日「かんぽの宿・有馬」 で開かれました。今年は温泉につかり、座敷でゆっくり 会食という形式で10数名が集い、中島 久先生も御出 席下さいました。

長引く不況と少子化で大変ですが、愚痴をこぼせる数 少ない場とあって会員も心待ちにし、もう20年近く続 いています。

尚、当会では教育関係に携わる方々の御参加をお待ち しています。

(前川 記)

問合せ先

柏木 康雄(46回卒)

〒596-0825 岸和田市土生町728

TEL. 0724-26-2963



古赤三花椿稲厚小渡青池山中高藤松横小涌木山野船大厚山河近長入森丸高小山森宮中福石米吉柴村山紅家松原折本田見林辺野田田野木本本野西島村本草越國見田野藤岡間下岡田出崎本川島井田谷田田上田野  $\blacksquare$ 

機高高高高高70665850433732282624232322221212120201918171716151313121210108  $\widehat{7}$  $\widehat{7}\widehat{6}$ 4 1 船械商商商商商商回回回回回回回 30

旧姓

雅

則

1 1 3 3 3 3 3 2

回 田中)

姓 姓 光雄) 拟

姓

清兵衛

姓 志水)

謹た記 で哀 悼の 0 逝 意を表します。こ去の報に接しました。

至成13年1月31日

現在)

 $00.99\ 00.99\ 00.99\ 00.00\ 00.00\ 00.99\ 00.99\ 99\ 99\ 90.00\ 00.00\ 00.99\ 00.00\$ 29 1 14 17 1 9 4 15 29 1 15 24 19 25 6 14 8 15 24 11 24 30 1 1 13 1 5 1 1 20 16 26 31 30 12 9 24 10 24 8 

## 宮川先生を偲ぶ



宮川先生略歴

大正11年10月12日生。

京城帝国大学法文学部史学科卒業後、昭和20年12月より旧制甲陽中学校教諭に着任。昭和48年4月より甲陽学院高等学校教頭に就任。昭和57年3月31日退任。その後、白鹿記念酒造博物館初代館長、大手前女子大学教授を歴任。伊丹、川西、赤穂、姫路各市史編集専門委員を兼任。

平成12年11月5日逝去。

#### 宮川秀一さんを憶う

高井悌三郎 (旧教職員)

宮川さんは私にとってはもっとも大事な友人であり、隣人であり、同僚であり、さらには研究を共にする学友でした。

その出会いは西宮の地です。ここの甲陽中学校が戦後新しく甲陽学院として出発した時でした。

その高等学校(甲子園)には宮川さんが先任され、中学校(香枦園)に私が赴任し、住宅は同じく 香枦園の職員住宅で軒を並べました。

宮川さんは隣人として頼もしい人でした。当時香枦園は阪神地方の海水浴場として夏は海水浴客で殺踏し、盗難も頻発して不穏でした。その防犯の指導者として、宮川さんが戸締り等いろいろと対策を指図し、職員住宅は難を免れました。宮川さんは「その手口は幼稚ですよ。」と笑っていました。中野学校の出身者から見れば手口は幼稚だということでした。宮川さんは学徒出陣で、陸軍中野学校出身の青年将校でした。中野出身ということは固く秘して他者に洩すことは控えていました。当時占領軍政下で、一番にらまれていたのが旧軍人でした。その中野学校で習った陸軍の隠密技術が、今や宮川さんの家族引上げの「忍術」になったのです。

西宮では田岡香逸という「郷土史家」がおりました。家業は宮水の井戸を管理する「井戸屋」ですが、民俗学の柳田門下の宮本常一さんらとも友好を結んで、民俗学の研究に精進しておられました。わたくしは、梅原末治・辰馬悦蔵先生の紹介をえて、田岡さんを訪ねました。話は早速に「郷土研究」になりました。西宮を中心に阪神地方の地域調査をやってみようということになりました。

まず名のりを「甲陽史学会」と上げ、「郷土研究」を行うことを目的とすることを宣言して発足することになり、それが県内各地の研究者たちの賛同を得て、行政からは自由な研究となりました。 その成果は次のとおりです。

①その寺院造立者

その地の古代地方豪族。たとえば猪名寺の狛名氏など。行基の昆陽院に比定する説もあるが、そう 断定するに足る資料がない。古代寺院については行基の名をあげるものは多いが、伊丹廃寺などその 著例であろう。

- ②その性格は、後にくる国分寺などのような宮寺ではなく、私寺である。
- ③その塔が金堂の東に置かれる法隆寺式である。近くの昆陽寺もこれに属するようである。
- ④その存続は中世までは確実であるが、遺跡地では確認できない。

立派な古代伽藍が、いま若人の手で初めて解明されました。

この調査に宮川さんは数年つづけて現場に立ちました。学生たちとともに鍬、スコップ、竹べらを手にしました。この調査が伊丹市との縁となり、伊丹市史の編さんにも主力となり完成させました。

#### お浄土の宮川先生へ 酒井 一 (31回)

学制改革によって私たちは、1948年に中学4年生を終えて新制 高校二年生に編入され、二本の白線の入った帽子をかぶった。高 井悌三郎先生と一足遅れて始まった宮川秀一先生の歴史の授業 は、ここで受けることになった。

宮川先生担当の世界史では当時一世を風靡していた大塚・高橋 史学を伝えるもので、そこで学んだことは今も私のヨーロッパ近 代を考える基礎になっている。「カルヴィン、フランス語ではカ ルヴァンといいます」という一言もしっかり脳裏に刻まれ、フラ ンス語一つの興味をそそられた。

高校二年の頃、学校嫌いになり独学で歴史を学びたいという私に対して、先生は視野の狭い郷土史家になってはいけないと論された。母とともに香枦園の浜近くのお宅に御礼に伺った思い出がある。卒業後歴史学に進むと伝えると、先生はモンテーニュの随想集を贈って励まされた。そこには同じ歴史学を学ぼうとする者への喜びを伝える手紙が挟まれていた。私の終生の宝物である。

私たちやその後、綺羅星のごとく登場してくる後輩の考古学、歴史学の研究者たちも、先生の学殖と温かい受情に育まれたものであろう。思えば高井・宮川両先生は私の人生行路を決めた恩師であり、いま宮川先生を喪ってその期待に副えない自らを恥じること頻りである。先生、本当にお世話になりました。合掌。 (追記)

宮川先生の訃報に接したのは、昨年11月終わりの頃でした。誰も自分に訃報を知らせるな、が先生の強いご意志と承って、一人で静かにご冥福をお祈りするばかりでした。私ども31回卒は、先生が甲陽に赴任された最初の教え子であります。時代は敗戦直後の混乱と困窮の最中にあり、私どもは精神的には荒廃の中を彷徨い、何を求めて生きるべきか暗中模索の状態でした。その時に先生の新鮮さ溢れる授業が始まり、私は教科書を学ぶというよりも、先生の話される言葉の端々から、新しい物の見方・考え方、真の人間としての生き方を教えこまれたように思います。私の人間形成への原点は、先生の授業にあったと考えています。今は先生への感謝あるのみです。

酒井 兄の「お浄土の宮川先生へ」の題目は真言宗大谷派のお寺にお生まれになった 先生への、同兄の心に秘められた思いが込められていると聞いています。 (有田 記)

#### 宮川先生の思い出 福井 有(51回)

宮川先生を大手前女子大学史学科にお迎えしたのは昭和58年の春、今から18年前のこと。当時は、当大学もまだ学生数が少なく、家庭的な和気藹々の雰囲気だった。甲陽学院ご退職後しばらくは、白鹿記念酒造博物館にご勤務されていたが、「やはり教師は教壇に立つのが一番嬉しい」と、とても喜んでおられた。本学では、国史学演習、特講、近代史や社会科教育法を担当された。シラバスには必ず教科内容の説明に加え「出席不良は失格、確実にノートをとること」と注記されていた。またテキストはかの有名な手書きのプリントだった。

2年後の昭和60年からご退職の平成9年迄続いた宮川ゼミでは 299名もの卒業生が巣立っている。

女子学生の先生評は、勉強には厳しいが、いつもニコニコ、と ても優しい先生という評判だった。私も高校時代の時の印象より、 女子大では大層お優しくなられたと感じていた。

遅れてきた学生は教室に入れないなど、教育に熱血を注がれ、同時に研究業績も数多く、伊丹市史や姫路市史などの編纂委員もつとめられた。

夏休みにも連日、大学の研究室に足を運ばれた。お宅には別の研究テーマの史料がおいてあり、自宅と研究室と研究の種類を分けられているとのこと。帰宅後も勉強されているのだと分かり二度ビックリした。

先生はよく私に「甲陽時代も大手前時代も学校が成長し生徒が伸びてくれたので、とてもやりがいがあった」と言って下さった。 甲陽学院高等学校3年B組の卒業式の日、

「今日からは、君達がライバルだ。人間は一生勉強。先生は君達に負けずに頑張るので、君達も私に負けずに元気に頑張ってほしい。」と激励された言葉を私は今でも忘れていません。

## 告 知 板

## ◇「甲子園都ホテル」◇優待券の期限延長について

- \*同ホテルの「宿泊」と「飲食」の優待券につきまして、 現行の優待券には2000年3月末までと記載されていま すが、その記載にかかわらず、その有効期限が2002 年3月末まで、延長されることになりましたので、お 知らせいたします。
- \*優待券をお持ちでない方は、ご面倒ですが事務局まで、 電話・FAX・E-メールでお申し出下さい。折返し優 待券をお送りいたします。

#### ◇ -ご注意 - 偽会員名簿について ◇

- \*相変わらず、甲陽学院同窓会の名前をかたって、同窓会 名簿を作成するためなどと偽り、ハガキ等による紹会や 名簿の申込み依頼などがあるようです。これらは、同窓 会も学校当局も全く関係がありません。その出所を確認 され、慎重に対処されるようお願い申し上げます。
- \*同窓会では、2002年に創立85周年を記念して、新同窓会名簿を発行する予定です。現在その検討と準備の作業に入っています。
- \*新同窓会名簿作成に関する同窓生諸氏のご確認等につきましては、その出所を明確にし、ご連絡やお問い合わせの宛先は、母校にあります同窓会事務局といたしますのでご注意下さい。

#### ◇ 各回理事・評議員の皆様へ ◇

- \*理事・評議員の方で最近、関西から遠くへ転勤・転居され役員総会・理事会へのご出席が困難になっている方がおられます。また、理事・評議員が選出されていない卒業回もあります。
- \*同窓会を運営する上で、理事・評議員は重要な役割を 担なっています。会則上、理事・評議員は執行部から 指名ができません。同期の方々の中から、各回とも適 宜の方法で選出していただき、事務局にご通知をお願 いすることになっています。
- \*理事もしくは評議員が選出されていない回の方も含めて、その回でご相談下さい。理事・評議員が決まれば、そのご氏名を事務局までご連絡下さい。この両者の選出は甲陽の同窓生としての、その回の権利でもあり義務でもあります。よろしくお願い申し上げます。

## 小野歯科医院

院長 小野晃 (29回)

〒659-0052 芦屋市伊勢町2-4 TEL・FAX (0797) 22 - 3989

## ときまさ歯科医院

院長時政光雄(55回)

〒553-0003 大阪市福島区福島5-6-16 (ホテル阪神北隣) TEL (06) 6458 - 6118 FAX (06) 6458 - 6524

#### ◇ 住所変更の届けについて ◇

- \*会報の発行に際し、毎回、約100通を越える会報が、転居先不明で会報が戻ってきています。
- \*事務局で転居先の調査を行い、会報の再発送に努めていますが、事務局の調査にも限界があります。転居された時は、お手数をおかけしますが、必ず事務局まで、 忘れずに住所変更の通知をお願い申し上げます。
- \*各回の理事・評議員の方、また各同期会の幹事の方も、 同期の方の転居がおわかりになりましたら、ご面倒を おかけしますが、事務局までご連絡のほどよろしくお 願い申し上げます。

#### ◇「会報・甲陽だより」の原稿募集 ◇

- \*次号・第64号は、7月初旬に発行を予定しています。 原稿として、新21世紀を展望して「今後の同窓会の 進め方・在り方・存在意義」など、皆様の貴重なご意 見やご提案・ご提言などの原稿をお待ちしています。
- \*更に、「会員だより」・「文化部・運動部のOB会の活動状況」・「各支部結成の動向」・「各職場の甲陽会の動き」・「甲陽趣味の会の状況」・「海外在住の同窓生の活動状況」などのご投稿を期待しています。
- \*会報は、皆様の情報誌です。奮ってご活用下さること をお願いします。
- \*原稿の締めきりは、5月末日とさせて頂きます。若し、 若干遅れるようでしたら事務局まで、ご一報下さい。 お待ちしています。

#### ◇「会員総会のお知らせ」◇

- \*平成13年度の「会員総会」は、今年の8月25日(土) 14時から開催を予定しています。場所も懐かしい旧校 舎の跡地「甲子園都ホテル」を予定しています。
- \*今年の会員総会は、会員総会運営委員会と担当幹事回として第52回卒の同期会が中心となって、会員総会の企画・運営にあたることになっています。よろしくお願い申し上げます。
- \*また、昨年からの新企画としてホームカミングデーを設けました。卒業50周年と25周年を迎えられる出席者の方々に、それをお祝いする意味で、細やかな記念品を贈呈することになっています。今年は32回生と57回生の方々が対象になります。ぜひ奮ってご参集されることをお待ちしています。

## 松本歯科医院

院長 松本 茂(52回)

〒665-0835 宝塚市旭町2丁目2-27 寿第1ビル2F TEL (0797) 85 - 1526

## 国賀歯科医院

院長 国賀 就一郎(57回)

〒673-0892 明石市本町1丁目3-11 コンポーズビル4F TEL (078) 911 - 7766 FAX (078) 911 - 4010